

29	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	14102034	中性子線照射による原子炉構造材料の経年劣化と磁化過程の相関に関する研究	高橋 正氣(岩手大学・工学部・教授)	B
	<p>(意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉構造材料の経年劣化に対する新たな磁気的非破壊検査法の提案に従い、磁気ヒステリシスマイナーループ法による材料中の格子欠陥の観測など、当初の研究計画に沿った研究が進行していると判断できる。 実用化が可能かどうか重要課題であるが、因子が複雑であること、実際は初期の段階から微少な亀裂が発生している事もあり得ること等から、現段階では実現性にやや困難が見られる。 そこで、基盤研究(S)としては基礎的研究に徹することとし、転位による格子欠陥との相関など、基礎研究に焦点を絞った計画で進み成果をあげて頂きたい。 			
30	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	14103001	海洋有機物プールのダイナミクスと地球表層物質循環の長期変動との関わり	田上 英一郎(名古屋大学・大学院環境学研究科・教授)	B
	<p>(意見等)</p> <p>本研究による海洋有機物プールの化学的特性の解析から、海水中に蓄積する溶存有機物の保存機構(海水中の有機物の姿)が明らかになりはじめている。その成果は当該研究分野の国際的なトップジャーナルに5編の原著論文として公表されており、研究課題にある「海洋有機物プールのダイナミクス」に関する研究は順調に進展していると認められる。研究課題前半について今後の研究成果が大いに期待される。</p> <p>しかしながら、研究課題の後半のテーマ「地表表層物質循環の長期変動との関わり」は、当初の計画通り進行していない。</p>			